

職員による自己評価

A環境面

・うがいや手洗い、マスク等、子ども達に基本的な感染たく策を身に着けてもらう事ができた

B児童への支援内容

・ソーシャルディスタンスを取りながら、個々の活動を深める事ができた
・小集団での活動は出来る限り屋外で行った

C関係機関との連携

・計画相談を利用している児童については、適切に連携を取ることが出来た

D保護者への説明責任・信頼関係

・連絡帳やメールにて、個別に細かく連絡を取り合っている

E非常対応

・コロナや積雪の際の対応は、臨機応変に対応する事ができた

保護者による評価

A環境面

・荷物の置き場所に名前が書いてあって、わかりやすくなったと子どもが言っている

B児童への支援内容

・コロナで色々な子ども関連の行事が減る中で、来所を楽しみにしている

C事業所からの情報発信

・日々の活動について、細かく連絡帳に記載があり、安心
・全体の様子についてのお手紙はない

D非常対応

・発熱や学校で濃厚接触が出た場合の放デイの利用についての説明や基準がわかりやすかった

事業所内での分析

【共通点】

- ・コロナ禍において、子ども達が安心して活動ができ、来所を楽しみにしている
- ・感染予防が習慣として身についた

【相違点】

- ・個別の様子はよくわかるが、全体の様子がわかからない

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・子ども一人一人の活動内容や様子をきめ細かく伝える事が出来ており、安心して利用して頂くことが出来ている
- ・コロナ禍において、子ども同士のコミュニケーションの場として、安心して利用して頂くことが出来ている
- ・有事における、適切な情報発信

事業所の改善点

- ・感染対策を取りながら、小集団での活動の機会や活動内容を引き続き工夫・検討する
- ・全体の様子の発信について、その方法やニーズを引き続き調査・検討する必要がある
- ・マスクを外してしまう子どもに対する声掛けや対応

事業所の改善への取り組み

- ・コロナ禍において、感染対策を徹底したうえで、小集団での活動をどの様に展開していくか、今後も試行錯誤しながら、療育に取り入れる
- ・全体的な活動の様子を、頻度・媒体ともいかに適切なカタチで保護者に伝えていくか、今後もニーズの調査・公開奉納の検討を続ける。一般公開、というカタチでのブログでの発信は継続する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

コロナ禍において、子ども達が安心して過ごせる場を提供する事の重要性を改めて感じました。また、保護者だけでは、こだわりが強く、感染予防が習慣化しにくい場合もあり、普段の生活の延長線上にある児童発達支援・放課後等デイサービスにおいて、無理なく感染予防が習慣化出来る様に声掛け・支援が出来たことがとても感謝されました。引き続き、感染対策と療育の両立を目指して、試行錯誤をしていきたい。

事業所名 ルルちいさいおうち

担当者 渡部 淳子